



2022年12月15日

各 位

会 社 名 パーク24株式会社
 代表者名 代表取締役社長 西川 光一
 (コード: 4666、東証プライム市場)
 問合せ先 執行役員経営企画本部長 實貴 孝夫
 (TEL: 03-6747-8120)

2022年10月期 通期連結業績予想と実績の差異及び 法人税等調整額の計上に関するお知らせ

2022年9月14日に公表しました2022年10月期 通期連結業績予想と本日公表の実績の差異及び法人税等調整額の計上につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2022年10月期通期連結業績予想と実績の差異(2021年11月1日~2022年10月31日)

	売 上 高	営 業 利 益 又 は 損 失	経 常 利 益 又 は 損 失	親会社株主に 帰属する当期 純利益又は損失	1株当たり 当期純利益 又は損失
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	288,000	18,000	14,000	4,000	24.58
実績(B)	290,253	20,672	16,970	2,476	15.22
増減額(B-A)	2,253	2,672	2,970	△1,523	△9.36
増減率(%)	0.8%	14.8%	21.2%	△38.1%	△38.1%
(ご参考)前期実績 (2021年10月期)	251,102	△8,039	△11,619	△11,658	△75.45

2. 差異が発生した理由

2022年9月14日に公表した「2022年10月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」における2022年10月期連結業績予想につきましては、7月上旬から再拡大した新型コロナウイルス感染症(以下、感染症)の影響が期末まで継続する想定に基づいております。

実績につきましては、感染症の影響が9月以降軽微となったことから、各サービスの稼働が想定を上回り、感染症禍で継続してきた事業の筋肉質化による収益体質の改善も寄与した結果、売上高、営業利益、経常利益ともに前回発表予想を上回る結果となりました。一方で、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、モビリティ事業を運営するタイムズモビリティ株式会社(以下、TM社)において、繰延税金資産の一部取り崩しに伴う税金費用として法人税等調整額3,540百万円を計上した結果、前回発表予想を下回りました。

3. 法人税等調整額の計上及び今後の見通しについて

2022年10月期におけるTM社の業績については、事業年度の当初において感染症による行動制限がない前提に基づき、黒字の計画を立てておりました。また、2022年9月14日に公表した「2022年10月期通期

連結業績予想の修正に関するお知らせ」におきましても、第4四半期連結会計期間はモビリティ事業が繁忙期に当たることから、TM社の黒字計画は達成可能と判断しておりました。実際に7月以降、感染症による新規感染者数は高い水準で推移しましたが、行動制限等がないことや季節的に旺盛な個人需要に下支えされ、業績は堅調に推移しました。しかしながら1月から3月にかけて全国的に実施されたまん延防止等重点措置適用の影響は大きく、その間の損失を埋めるまでには至らず3期連続の赤字となりました。当該状況を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、TM社においてその一部を取り崩すととも税金費用として法人税等調整額3,540百万円を計上することを決定いたしました。

なお、2023年10月期は、感染症影響のさらなる軽減が期待される中、事業成長に重点を置きながら費用構造の改革を進めることで、TM社においても持続的な利益創出は可能であり、モビリティ事業全体として確実に成長していく見込みです。

以上